

大規模災害に備え 災害ボランティアセンター 立ち上げ訓練を実施しました。

東日本大震災から5年以上が経過し、時間とともにこの震災も新聞等のマスコミなどで目にする機会が少なくなってきました。しかし、被災された方々は、未だに復興途上にあります。

本会では、地震などの大規模災害に備え、毎年災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施しています。

本年度は、2月6日（土）に鎌ケ谷市総合福祉保健センターを会場にボランティア連絡協議会、災害救援ボランティアネットワーク、地区社会福祉協議会等の協力をいただき実施しました。



受付



注意事項説明



平成28年3月25日 第97号

発行……社会福祉法人
鎌ケ谷市社会福祉協議会
〒273-0195
鎌ケ谷市新鎌ケ谷2-6-1
総合福祉保健センター5F
TEL.047-444-2231
FAX.047-446-4545

災害ボランティアセンターとは…

災害ボランティアセンターは、大規模災害が発生した際に「支援を受けたい被災者」と「被災者を支援したいボランティア」の双方の思いを調整し、つなぐ役割をもって開設される機関です。

災害ボランティア養成講座 ～「災害時にも役立つ家庭救急法」～

11月16日（月）13：30～15：30、総合福祉保健センター6階で開催しました。日赤救急法指導員の中村潤一氏と加藤幸子氏を講師に、三角巾の使い方に始まり、絆創膏の活用法、毛布でガウン…など日赤スタッフのきめ細かな指導により参加者からは「しっかり教えてもらったので、あとは忘れないよう時々練習します！」との声を多く聞くことができました。



参加者に「災害に備え常に持ち歩いているもの」を聞きました。

- ① 携帯電話 ② 笛 ③ 三角巾、懐中電灯、マウスピースなど

講師からアドバイス

災害時に家族が離散せざるを得ないこともあり得るので、私は家族を照会し、すぐにさがせるよう家族の写真を所持しています。今は誰もがスマホに大切な家族や友人の写真を収めていると思いますが、写真所持が災害時には役立つはず。応急手当も知っているとなお便利。心配性の私は小さな習慣ですが、参考になればと思います。

福祉作業所 友和園 紹介



友和園は、生活介護と就労継続支援B型の機能を併せ持った多機能型の施設です。利用者の興味・関心を引き出し、能力を最大限に生かして様々な作業を行っています。

その中で、毎週火曜日の午後は自主生産の作業をしており、就労継続支援B型を中心に、紙すき班と手芸班に分かれて製作しています。何をどのように作るか、利用者自身も考えながらアイデアや意見を出し合っ

て作ることで、大好きな作業となっています。どれも心をこめて作ったものばかりです。常時、鎌ケ谷ブランド館（アクロスモール1階）で販売しています。また、直接注文も受け付けています。（友和園：☎047-445-7777）是非、お買い求めください。



☆メモ帳	1冊	100円
★名刺	10枚単位	100円
☆ハガキ	1袋3枚入り	100円
★ポチ袋	1袋2枚入り	100円
☆ビーズストラップ	1個	100円
★ビーズプレスレット	1個	100円～300円
☆刺し子布巾	1枚	200円～300円



平成28年度ボランティアセンター事業案内

ボランティアセンターでは、福祉に関わるボランティア活動推進のため、小学生から一般の方まで参加できるよう下記の講座や体験を予定しています。

ボランティア活動への参加のきっかけは、地域の方々との交流を深めたい！趣味を生かしたい！友達をつくりたい！定年後の自由な時間を有意義に過ごしたい！など、思いは人それぞれ。

“ボランティア活動してみたいな” そう思ってもなかなか一歩を踏み出せずにいる方、まずは体験することをお勧めします。今年度も多くの方との“出会い”を楽しみにしています。詳細は、広報かまがや・社協ホームページ等で随時案内いたします。

講座名	目的・内容	対象者	日程	時間帯・所要時間	場所
ボランティア入門講座	講義や実技を通して、活動にふれてみましょう	ボランティアに興味関心のある方・ボランティア活動中の方	6月中旬	午後2時間程度	総合福祉保健センター6階
市民ボランティア体験学習(前期・後期)	自分に合う”ボランティアスタイル”を探してみましょう	市民	前期7月 後期2月	活動先の団体に準ずる	各団体の活動先にて
夏休み福祉体験	障がいや高齢者への理解と関心を深めます	小学生～大学生	7月下旬～ 8月上旬	活動先の団体に準ずる	各団体の活動先または総合福祉保健センター6階
災害ボランティア養成講座	講義や実技を通して、一人ひとり「何ができるか」を考えます	市民	11月中旬	午後2時間程度	総合福祉保健センター6階
ボランティア活動スキルアップ講座	活動を継続するための、健康・経験・知識のステップアップを目指します	活動中のボランティア・ボランティア活動に関心のある方	1月下旬～ 2月上旬	午後2時間程度	総合福祉保健センター6階

参加者の声

ボランティア入門講座 6/16実施 「ボランティア活動で大切なこと」 ～対人援助の方法～

- ボランティアを始めて10年になりますが、最も基本的なことに気付いた様に思います。近頃は、活動もマンネリになりつつあるので、とても参考になりました。80代女性
- 利用者と同じ目線で相手の言葉を聞く、改めてまた今日の講義で、いろいろな事を感じ、自分も学習することが大切。むりをせずに続けていきたい。60代女性



ボランティア活動スキルアップ講座 「鎌ヶ谷にあったらいいな、こんなボランティア」

2/10実施
いろいろな活動をしている方々が集うことに興味を持ち参加してみました。グループ討議をとおして、それぞれ希望や実現したいことがあることを語り合い楽しく充実した時間を過ごすことができました。60代女性



北部小 5年 アイマスク体験 11/25実施

目の不自由な方は大変だということがわかりました。でもこの体験を通して、目の不自由な方をガイドする方は1つの命をあずかっているのだから、それ以上に大変なこともわかりました。貴重な体験をありがとうございました。

女子児童



初富小 4年

手話・点訳体験 1/29実施

手話・点字体験、子どもたちは、とても楽しかったようで、それぞれのクラスで体験した内容を話していました。今後は国語の授業にも生かしていきたいと思います。ありがとうございました。先生

ボランティアセンター



総合福祉保健センター5F
問い合わせ TEL(442)2940
FAX(446)4545

開所時間

月～金曜日:午前9時～午後4時

ボランティアまめ知識

できることから始めましょう

(小さなことからでいいのです)

自然災害の被災地におけるボランティア活動保険の加入・更新手続きについて

保険料は天災A 430円・天災B 650円となります。平成28年度加入手続きは、3月末より受け付けます。補償期間は4月1日～平成29年3月31日。中途加入の場合は加入手続き完了後から平成29年3月31日となります。

ボランティアデビューされた方からのメッセージ

市民ボランティア体験学習

7月実施
車いす点検整備ボランティアを体験
70代 男性

父が入所する介護施設の車いすは、タイヤの空気は抜け、部品は曲がり、食事のカスなどで汚れた状態で数年使用していました。施設の方が忙しく、手入れの時間が少ないことがわかりました。知人が点検整備のボランティアで活動されていると聞いて、体験後の昨年9月に入会しました。車いすを必要とする方が少しでも気持ちよく使用できれば良いと思います。



集めています

ボランティアグループや施設で使用します。ご協力をお願いいたします。

- ウェス用布 (Tシャツやゆかた、シーツなど木綿の布)
- アクリル毛糸
- 使用済み切手
- 花の苗や種

社協会費報告

皆さまの会費が地域の福祉を支えています

鎌ヶ谷市社協では、市内に住む方々が会員となり、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりのために、行政・団体・施設等と協力しながら、地域福祉を推進しています。事業を進めるための主な財源は、補助金、会費、共同募金ですが、会費は重要な自主財源であり、社協事業の運営を支えています。

平成27年度：一般会費	9,647,560円 (29自治会)
会費加入状況 法人会費	473,000円 (101件)
施設団体会費	215,500円 (54件)

総合計 10,336,060円

*一般会費の約25%は各自治会の福祉事業費として活用されています。



社協会費は、自治会をはじめ、個人・団体・施設・商店・会社等多くのみなさまからのご理解とご協力をいただきました。会費は、法人運営・ボランティア育成・在宅福祉サービス・地域福祉活動・相談などの社会福祉事業に有効に活用させていただいております。



ボランティア事業

福祉体験講座 中部小



在宅福祉サービス事業

ふれあい協力会員研修会

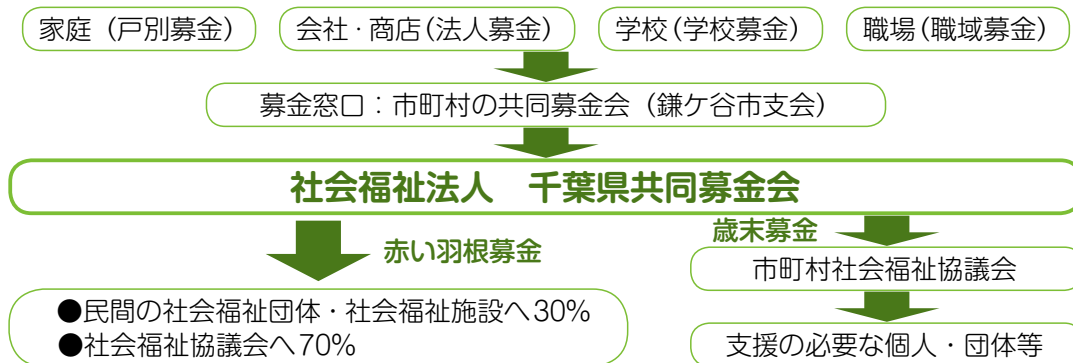
共同募金運動報告

あなたのハートを募金にかえて今年もたくさんの“やさしい気持ちがあつまりました”

平成27年度募金総額 10,854,437円でした。



◆募金から配分までの流れ



●赤い羽根共同募金

赤い羽根募金総額	7,031,110円
戸別募金 (29自治会)	5,785,945円
学校募金 (市内の小・中・高校16校)	172,592円
法人募金 (会社・商店等 281件)	920,500円
職域募金	52,592円
その他 (イオン募金・個人・団体)	99,481円

●赤い羽根募金は、千葉県内の民間社会福祉施設・福祉団体、地震や台風などの災害時の支援として配分されました。また鎌ヶ谷市内の各種ボランティア団体・福祉団体・小中学校の福祉活動への助成、6地区社協活動・すまいる祭りなど地域福祉の推進に役立てられました。

●歳末たすけあい募金

歳末たすけあい募金総額	3,823,327円
戸別募金 (29自治会)	3,532,919円
その他 (個人・団体)	290,408円
(配分内容) 配分総額	3,776,000円
○要援助世帯、生活困窮者への緊急的生活支援	2,436,000円
○高齢者・障がい者・児童福祉施設、小規模作業所	750,000円
○各種福祉イベント等	290,000円
○当事者の会、障がい者団体等	150,000円
○災害ボランティアセンター運営備品等	150,000円

●歳末たすけあい募金は、新年を迎えるにあたり支援を必要とする人たちが鎌ヶ谷市内で安心して暮らせるために、また障がい者団体・小規模作業所などの交流活動や福祉イベントなどに配分することができました。

シリーズ 6

民生委員児童委員とは？

- ・民生委員制度は90年以上続く歴史ある制度で、全国で23万人の民生委員が活動しています。(鎌ケ谷市内では現在、154名の方が活動しています。)
- ・民生委員は民生委員法で設置が定められ、厚生労働大臣から委嘱される「非常勤特別職の地方公務員」です。
- ・任期は3年(再任が可能)で、基準に基づく世帯数に応じた地域を担当します。
- ・民生委員は児童委員を兼ねています。

<民生委員児童委員の役割>

役割を一言でいうならば「地域のつなぎ役」です。地域の方々の相談にのり、専門機関や行政サービスなどにつないだりします。

※社会福祉協議会にとっても、地区社協、心配ごと相談、資金貸付など、多くの事業に支援をいただく頼りになる存在です。



<地区社協事業紹介>

高齢者にもやさしい体操教室(南部地区社会福祉協議会<在宅福祉委員会>)

～膝の痛い方も座ってできるので、楽しくできます～

- ① 事業目的：介護予防を目的に、楽しく仲間づくり。
- ② 事業開始：約20年前から「さわやかライフ倶楽部」として体操教室を開いていましたが、3年前より回数を増やしました。
- ③ 対象者：南部地区にお住まいの方。(年齢制限はありません)
- ④ 参加者数：毎回60名程です。(今年度は4回実施)
- ⑤ 参加者からの声「こういう楽しい体操教室なら毎月やってほしい。」



福祉サービス案内

地区社会福祉協議会では、「必要なときに、必要な人に、必要なサービスの相談、情報提供の推進」を図るために「福祉サービス案内」を行っています。福祉にかかわる情報を知りたい時や相談窓口がわからない時には、ご相談ください。専門機関、窓口などをご紹介します。

中央地区 TEL 442-5145
中央東地区 TEL 442-5144
東部地区 TEL 442-5141
西部地区 TEL 389-6061
南部地区 TEL 442-5143
北部地区 TEL 442-5142

時間はいずれも
火～土曜日
9時～16時

善意のご寄付ありがとうございます

平成27年10月23日～平成28年2月19日

善意銀行

(敬称略・順不同)

寄付者	用途	金額
山葵の会	福祉のために	16,350円
鎌ケ谷手工芸連盟	福祉のために	13,150円
鎌ケ谷モロロジ事務所	福祉のために	3,000円
鎌ケ谷市民謡連合会	福祉のために	22,663円
建設ユニオン千葉鎌ケ谷分会	福祉のために	25,000円
山賀正六	6地区社協へ	300,000円
匿名	福祉のために	300,000円
鎌ケ谷市ダンススポーツ協会	福祉のために	60,197円
鎌ケ谷市茶道協会	福祉のために	20,000円
匿名	福祉のために	10,000円
陶芸 風	福祉のために	5,200円

寄付者	用途	金額
ニッポー(株)	すまいる祭り	クリスマス菓子詰め合わせ400袋
茂野製麺(株)	友愛ボランティアへ	年越しそば・そば汁 100食分
南初富連合自治会	友愛ボランティアへ	80,000円
デイサービスセンター 和楽	福祉のために	50,000円
宇都木みや子	福祉のために	5,000円
ベルフラスクエアーズ	福祉のために	5,000円
千葉建労鎌ケ谷支部	福祉のために	20,000円
(株)ヤマシナ商事	福祉のために	101,084円
竹石正夫	福祉のために	タオル100枚

入居者募集中

有料老人ホーム
初富の家

安心して
楽しく
暮らせる

TEL : 047-404-7113

グループホーム

ききょう
の家

住みなれた
地域だから
安心

TEL : 047-498-5255

千葉県鎌ケ谷市中央1-8-20 スタッフ募集中

広告募集

鎌ケ谷市社会福祉協議会では、「鎌ケ谷社協だより」に広告掲載企業の募集を始めました。全戸配布のメリットをいかして宣伝してみませんか？

- 年3回発行(6月・11月・3月)
- 掲載料1万円(寸法90mm×50mm)
- 全戸約32,000部配布
- 次回の発行は6月予定
- ホームページにも掲載されています



お問合せ先▶ ☎ 444-2231 (社会福祉協議会事務局)